

投稿要領

- ・原稿は Word、TEX、PDF 形式で作成し、原稿の提出は下記の URL サイトで行なう。
- ・原稿提出の際に、全著者を代表して、連絡著者に著作権の委譲の同意を求め、事前に全著者に確認をとること。
- ・原稿提出の際に、全著者に論文投稿とオーサーシップの同意を求め、事前に全著者に確認をとること。
- ・原稿提出の際に、連絡著者のみならず、全著者の ORCID iD の作成、もしくは登録済みの ORCID iD を追記することを推奨する。原稿提出の際もしくは投稿アカウント作成の際に、ORCID iD の作成もしくは ORCID iD の登録を行った場合、掲載論文に著者の ORCID iD が追記される。ORCID iD の詳細については、ORCID のサイトを参照のこと。
<http://www.orcid.org>
- ・原稿提出の際は著者連絡者情報、原稿情報（和文題目・和文要旨、キーワード、分野）について入力が必要になるので、入力情報のデータを用意し投稿サイトにアクセスする。
<https://mc.manuscriptcentral.com/kakoronbunshu>
- ・投稿ファイルは本文中に図表を組み込んだ一つのファイル（印刷イメージで作成し（A4 サイズ 55 行×2 行）、最後に英文題目、英文著者名、英文要旨を添付する。英文題目、英文著者名の書き方は下記「論文題目と著者情報、要旨」に準じる。
- ・ひとつのファイル形式で投稿し、サイズは 20 MB までとする。

原稿の作製

1) 論文題目と著者情報

- ・投稿論文の種類、分野番号（投稿規定上記参照、分野も記入すること）
- ・論文題目 内容を簡潔に表すもの。第 1 報、第 2 報のような表現は用いないこと。
- ・著者名、所属、住所。連絡著者名とその電話およびファクシミリ番号、E-mail アドレスを明記する。異なる所属、住所の共著者は、該当する著者に上付き添字 1,2 などをつけて示す。
- ・一部を口頭発表した場合は、その会議名、開催場所、年、月を記す。

2) 要旨 簡潔に研究の目的、得られた主要な結果、結論をまとめる。報文、化工データ、レビューは 800 字以内、ノートは 400 字以内で、和文、英文両方を作製する。

3) 本文 大、中、小の適切な見出しを用い、大見出しはたとえば緒言、実験、結果、考察、結言、(Appendix)、(謝辞)、Nomenclature、Literature Cited などとする。緒言、および結言以降には見出し番号を付さない。

- ・式は本文中に含めて記載する。引用は Eq. (1)、Eqs. (3) と (5) のように略記する。ただし文頭では略さない。
- ・図表は本文中では、Figure 1、Figures 2 と 3、Table 1 のように引用する。
- ・文献の引用は、本文中に著者の名前を記述する場合には、Carslaw and Jaeger (1960)、Tan and Liou (1989a, 1989b) のようにし、名前を記述せずに引用する場合は、(Carslaw and Jaeger, 1960)、(Tan and Liou, 1989a, 1989b) などとする。著者が三人以上の場合は *et al.* を用いる。
- ・化学物質名は原則として、IUPAC の命名法に従う。
- ・SI 単位系を原則とする。記号あるいは用語の後では [] の中に単位を記載するが、数値の後の単位には [] を付けない。

例： $k [W/(m \cdot K)]$ または $k [W \cdot m^{-1} \cdot K^{-1}]$ 、 $k = 0.58 W/(m \cdot K)$ または $k = 0.58 W \cdot m^{-1} \cdot K^{-1}$

- ・脚注はできるだけ限りさけることが望ましいが、不可欠な場合は関係する本分の箇所に上付き記号*をつけ、その頁の原稿下部に記す。
- ・Nomenclature（使用記号）はローマ字、ギリシャ文字、Subscript、Superscript の順に、それぞれアルファベット順に配列し、SI 単位系に準拠した単位を明記する。
- ・Literature Cited（引用文献）は筆頭著者の姓のアルファベット順に並べる。論文誌最新号の引用形式を参考に記載する。日本語文献の引用の際は、著者名はローマ字にて表記する。英文の誌名や書名、タイトル名を持つ日本語文献はその英文名を表記する。日本語のタイトルのみをもつ文献の場合、誌名はローマ字で表記する。書名、特許タイトル名は引用者自身が英訳して表記しその後、日本語タイトル名をローマ字にて記載する。論文や章のタイトルは引用者自身が英訳して表記し、その後 (in Japanese) を追記する。以下に記載方法の一部を例示する。

成書（単行本）：

Carslaw, H. C. and J. C. Jaeger; *Conduction of Heat in Solids*, 2nd ed., pp. 198-201, Clarendon Press, Oxford, U.K. (1960)

雑誌（定期刊行物）：

Konno, M., T. Muto and S. Saito; "Coalescence of Dispersed Drops in an Agitated Tank," *J. Chem. Eng. Japan*, **21**, 335-338 (1988)

特許：

Primack, H. S.; "Method of Stabilizing Polyvalent Metal Solution," U.S Patent 4, 374, 104 (2001)

Kameyama, H.; "Production Method of Thermal Conductive Catalyst" (in Japanese), Japanese Patent Disclosure H02-144154 (2009)

4) Tables and Figures（図表） 図表については本文に含める。なお、写真は図として扱う。各図表に図表番号を記入する。